

＜ 芸 術 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	器 楽	学 年 ・ 類 型	2 年 生 スポーツ&カルチャー	単 位 数	2 単 位	教 科 書	な し	
学 習 の 到 達 目 標		・ 器楽の諸活動を通して、楽器の演奏に関する知識や技術を身につける。 ・ 楽器の演奏を通して、読譜能力の向上を図る。 ・ 楽器の音色の特徴や演奏者による表現の違いに気付き、味わって鑑賞することができる。						
評価の 観 点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度		
評 価 の 内 容	創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲にふさわしい技能を身につけ、器楽で表している。			音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、表現意図をもっている。		曲想と音楽の構造や奏法、文化的・歴史的背景等との関りに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		
評 価 の 方 法	・ 学習活動での表現内容 ・ 実技テスト ・ ワークシート			・ 学習活動での表現内容 ・ 実技テスト ・ ワークシート		・ 学習活動への参加姿勢や態度 ・ ワークシート		
学 期	月	単 元 名 ・ 小 単 元 名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
						A	B	C
1 学 期	4	表現を工夫してキーボードを演奏しよう	キーボードの独奏やアンサンブルを通して、曲にふさわしい奏法を身に付けるとともに、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。			○		○
	5							
	6							
	7	1学期の器楽学習のまとめ	1学期のまとめとして発表会を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、これまでの学習を振り返って課題を確認し、2学期以降の取り組みを考える。			○	○	
2 学 期	8・9	ヴァイオリンに親しみ、表現を工夫して演奏しよう	ヴァイオリンに親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する			○		○
	10	リズムによってアンサンブルをしよう	キーボードやヴァイオリンなどによるアンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。			○	○	
	11							
	12	2学期の器楽学習のまとめ	2学期のまとめとして発表会を行い、学習内容の定着度を確認するとともに、これまでの学習を振り返って課題を確認し、3学期以降の取り組みを考える。			○	○	
3 学 期	1	表現を工夫して器楽アンサンブルをしよう	各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して器楽アンサンブルをする喜びを味わう。			○		○
	2	グループによるアンサンブルコンサートをしよう	1年間のまとめとしてコンサートを企画し、それぞれのグループが選択した表現方法で創意工夫を生かした表現活動を行い、音楽の喜びや楽しさを味わう。				○	○
	3							
学 習 の ポ イ ン ト		・ 楽器の構え方や音階などの基礎を大切にし、慣れるまで繰り返し練習する。 ・ アンサンブルではテンポを合わせることが重要なので、よく聴き合い、慣れるまで繰り返し練習する。 ・ 人前で発表することに慣れ、自分なりの表現ができるよう工夫する。						